

生涯スポーツ全国会議 2010

－人・スポーツ・未来－

開催要項

1 開催趣旨

我が国においては、自由時間の増大、体力・健康づくりへの国民の関心の高まりなどを背景にスポーツ需要が増大しており、誰もがいつでもどこでも気軽に参加できる生涯スポーツ振興のための環境の整備が求められています。

また、生涯スポーツの推進には、国や地方公共団体ばかりでなく、各種スポーツ・レクリエーション団体や、スポーツクラブ、学校関係者さらにはスポーツ関連産業団体等が、それぞれ重要な役割を果たしており、これら関係者相互の連携・協力が急務となっています。

このため、関係の各界各層の人々が一堂に会し、生涯スポーツ振興のための現状及び課題について、研究協議や意見交換を行い、相互理解を深め、関係者間の協調・協力体制の強化と生涯スポーツ振興の気運の醸成を目的として、本全国会議を開催するものです。

2 主催

文部科学省

生涯スポーツ全国会議実行委員会

財団法人日本体育協会

財団法人日本レクリエーション協会

財団法人日本体育施設協会

財団法人スポーツ安全協会

社団法人全国体育指導委員連合

社団法人スポーツ健康産業団体連合会

財団法人日本障害者スポーツ協会

埼玉県教育委員会（予定）

3 後援

経済産業省（予定）

4 全体テーマ

「生涯スポーツの新たな時代に向けて」 ～育成期から充実期へ～

「生涯スポーツ社会の実現に向けた施策や取組」など、スポーツ振興基本計画の達成に向けて取り組んできたこれまでの十年を振り返るとともに、今後、生涯スポーツの新たな時代に向けて、充実・推進していくべき施策の方向性について検討を深める。

具体的には、「スポーツは、人々に夢や感動を与え、豊かで活力ある地域づくりにも大いに貢献するものであり、すべての国民が身近な地域で生涯にわたってスポーツに親しめる環境をつくるために、また、それを次世代の子どもたちの明るい未来につなげていくために、今何をなさなければならないか」という認識の下、生涯スポーツ社会の実現について検討し、その方向性を探る。

5 期 日

平成22年2月4日（木）

6 開催地（予定会場）

埼玉県さいたま市（JR浦和駅周辺のホテル）

7 日 程

受付 9:45-10:30	オープニング 10:30-10:50 20分	特別講演 11:00-12:20 80分	昼食 12:20-14:00 100分	分科会 14:00-16:30 150分	情報交換会 17:00-18:30 90分
展示 9:45-14:00（オープニング、特別講演時は除く）					

8 参加者

地方公共団体関係者

スポーツ・レクリエーション団体関係者

各種産業界関係者

学識経験者

その他関係者 他 （約1,000名）

9 内 容

(1) 全体会

○特別講演

演 題 【 スポーツと脳 】

講 師 養老 孟司 東京大学名誉教授

(2) 分科会

①第1分科会

【総合型クラブの設立効果と今後の課題】

◆(財)日本体育協会

②第2分科会

【人々のスポーツ機会の拡大に果たす体育指導委員の役割】

◆(社)全国体育指導委員連合・(財)日本障害者スポーツ協会

③第3分科会

【スポーツ環境の整備とスポーツ施設の活性化】

◆(財)日本体育施設協会・(財)スポーツ安全協会・

(社)スポーツ健康産業団体連合会

④第4分科会

【スポーツ実施率の向上につながる楽しさを重視した指導法】

◆(財)日本レクリエーション協会

(3) 展示

生涯スポーツ関係団体、企業等のスポーツ関連活動を幅広く紹介するため、会場で展示を実施します。

○展示時間 平成22年2月4日(木) 9:45～14:00

※オープニング、特別講演時は除く

10 参加申込み (平成22年1月12日(火)(締切日必着))

本全国会議に参加を希望される方は、別添の「参加申込書」及び「振込通知書」に必要事項をご記入の上、下記宛先まで郵送又はFAXにてお申込みください。

< 郵送の場合 >

〒141-8691 郵便事業株式会社 大崎支店 私書箱5号

「生涯スポーツ全国会議2010」係

< FAX (ファックス) の場合 >

FAX番号: 03-5487-5332

11 参加費等

- ①参加費 1人2,000円(資料代込み)
- ②弁当代 1人1,500円(希望者のみ)
- ③情報交換会会費 1人2,000円(希望者のみ)

[振込方法]

参加申込書及び振込通知書を送付後10日以内に、参加される方の該当する経費を下記口座にお振込ください。

(※1月7日以降に申し込まれた方は、5日以内にお振込ください。)

みずほ銀行 渋谷支店 普通預金 0514474 <small>ザイ) ニホンタイイクキョウカイ</small> (財)日本体育協会

12 留意事項

参加申込をされた方ご本人の理由で参加できなかった場合は、受付時の配付資料を送付いたしますが、参加費等については返却をいたしません。

また、参加申込書に記載される個人情報については、本全国会議開催に係る事務以外の目的には使用いたしません。

13 その他

詳細及びその他不明な点については、下記にお問い合わせ願います。

文部科学省スポーツ・青少年局生涯スポーツ課 Tel 03-6734-2686 Fax 03-6734-3792
(財)日本体育協会生涯スポーツ課(実行委員会事務局) Tel 03-3481-2215 Fax 03-3481-2284

<第1分科会>

1 テーマ

【総合型クラブの設立効果と今後の課題】

2 趣旨

総合型地域スポーツクラブ（以下、総合型クラブ）の育成は、平成7年度から文部科学省が提唱し、生涯スポーツ社会の実現に向けた、地域におけるスポーツ環境整備のための重点施策として、全国各地域で設立が促され、これまで2,905クラブ（平成21年7月時点）が地域住民のスポーツライフを担う拠点として成長してきている。

本分科会は、総合型クラブの設立により、クラブ員をはじめ、地域や地域住民にどのような効果をもたらしているかを検証することにより、総合型クラブ育成の意義を再確認し、今後の総合型クラブ育成のあり方や支援策等について協議する。

3 コーディネーター

黒須 充 （福島大学人間発達文化学類 教授）

4 パネリスト

（1）「スポーツ振興の側面から見た総合型クラブ設立の効果について」

小倉 二郎 （総合型地域スポーツクラブ全国協議会 幹事長）

（2）「健康増進の側面から見た総合型クラブ設立の効果について」

上村 伯人 （NPO 法人エンジョイスportsクラブ魚沼 理事長／(財)日体協公認
スポーツドクター）

（3）「小規模自治体における総合型クラブの育成について」

若藤 美紀 （清流クラブ池川 ゼネラルマネジャー）

<第2分科会>

1 テーマ

【人々のスポーツ機会の拡大に果たす体育指導委員の役割】

2 趣旨

人々のスポーツ実施率を高めていくことが国や地方公共団体のスポーツ振興策の大きな課題となっている。直近のデータでは、45.3%の成人がスポーツに親しんでいる。

これをスポーツ振興基本計画の目標値である50%まで高めるためには、地域住民の日常生活におけるスポーツ機会の拡大や各地におけるスポーツイベント等への参加機会の拡大を一層図っていく必要がある。

そこで、本分科会では、スポーツ機会に恵まれない人々（女性、高齢者、障害者など）に焦点を当て、これらの人々が積極的にスポーツ活動に参加するために体育指導委員としてどのような支援等ができるのか、実践事例を交えて研究協議する。

3 コーディネーター

柳沢 和雄 （筑波大学大学院人間総合科学研究科 教授）

4 パネリスト

(1) 「高齢者の健康や体力を高めるためのスポーツ機会の拡大」

今井 進 （埼玉県春日部市体育指導委員）

(2) 「住民のスポーツ欲求を踏まえた全所帯加入のスポーツクラブの活動の実際」

岩本 とみ代 （川添なのはなクラブ クラブマネージャー）

(3) 「障害者を引き受けるスポーツ環境の充実を目指して」

北村 大河 （高知チャレンジドクラブ 運営委員）

(4) 「スポーツ機会の保障と体育指導委員」

藤井 和彦 （白鷗大学教育学部発達科学科 准教授）

<第3分科会>

1 テーマ

【スポーツ環境の整備とスポーツ施設の活性化】

2 趣旨

公共体育施設は、指定管理者制度が導入され5年が経過し、当初一部に混乱が生じたものの、生涯スポーツの身近な施設として、サービスが向上すると同時に、施設が活性化したといわれております。また、多くの施設ではこの制度の更新時期を経て新たな時期に入り課題も生じています。そこで、制度導入後の現状と課題を整理し、よりよい方向を探るものであります。また、モニタリング活用によるサービス向上と施設の活性化や環境にやさしい施設のあり方等について講演をいただき、生涯スポーツの一助としたい。

3 コーディネーター

野川 春夫 (順天堂大学スポーツ健康科学部 学部長)

4 パネリスト

(1) 「指定管理者導入後の公共スポーツ施設の現状と課題」

河井 良輔 ((財)さっぽろ健康スポーツ財団企画開発課 課長／(財)日本体育施設協会専門委員)

(2) 「モニタリング活用による利用者サービスの向上とスポーツ施設の活性化」

坂田 公一 (セノー(株)中央研究所 所長／(財)日本体育施設協会専門委員主任専門委員)

(3) 「環境にやさしいスポーツ施設の整備」

石原 智也 ((株)NTTファシリティーズ建築事業本部 設計部長／(財)日本体育施設協会専門委員)

<第4分科会>

1 テーマ

【スポーツ実施率の向上につながる楽しさを重視した指導法】

2 趣旨

スポーツが不得意な人、苦手な人たちがスポーツを始め、継続するためには楽しさを体験することが非常に重要である。苦手な人も楽しめるようなスポーツ指導のあり方を探る。

3 コーディネーター

野村 一路 （日本体育大学 准教授）

4 パネリスト

(1) 「タッチラグビーの指導方法」

(ジャパンタッチ協会指導者)

(2) 「フライングディスク（ドッジビー）の指導方法」

師岡 文男 （上智大学 教授／NPO 法人日本フライングディスク協会 会長）

(3) 「ブーメランの指導方法」

先光 吉伸 （日本ブーメラン協会 代表理事）